

帯広病院 21-4111

白樺医院 38-3500

ケアセンター白樺 41-1165

白樺在宅総合センター 41-1167



十勝勤医協 友の会ニュース

医療法人 十勝勤労者医療協会

帯広市西9条南11丁目1番地

0155-21-4718

発行責任者 今野 光 昭

URL: <http://www.tokachi-kin-ikyo.or.jp>
E-mail: soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp

いよいよ始まります！ 無料低額診療「くすり代助成事業」

かねてより友の会ニュースでもお知らせしていた帯広市の「無料低額診療へのくすり代助成」が10月から開始されます。申請はまず医療機関に資格申請書を提出し、決定の後、調剤薬局にて助成申請する手順となっています。現在、無料低額診療をご利用の方はまずは病院にご相談ください。



<あらためて無料低額診療の問題点とは？>

社会福祉法にもとづく無料低額診療制度は、1951年に始まりました。当時、診療後の調剤はすべて院内薬局で、無料低額診療の適用となった場合は薬代の自己負担も減免の対象となりました。しかし、1974年から政府が「医薬分業政策」を打ち出し、1990年代には8割の医療機関で院外処方せんを発行するようになりました。

保険調剤薬局には無料低額診療制度が対象外のため、患者の負担が発生することになりました。私たちは国に対して繰り返し薬代の適用を要請し、国会でもとりあげられてきました。しかし厚生労働省は認めていませんでした。このため私たち民医連は、国の制度ができるまでの間、自治体が補助する制度を広げるとりくみを進めてきました。

医療費の支払いが困難で治療を中断する前に、無料低額診療のご相談を～

コロナ禍で「お店の営業が立ち行かなくなった」、「非正規社員だったがシフトに入れず退職せざるを得なくなった」など、急激に収入が減少し、ご相談いただくケースが増えています。治療を中断する前に是非無料低額診療のご相談をお願いいたします。糖尿病、リウマチなどの薬は高額で、調剤薬局での支払が病院の何倍もかかることがあります。薬代がかかるならあまり意味がない、とあきらめている方もいらっしゃると思いますが、この機会に無料低額診療の利用をご検討ください。くすり代の助成には期限がありますが、無料低額診療を利用する事によって院内での検査、入院代も無料や減額することが出来ます。

制度改善の運動は続きます

最大の問題は日本の高すぎる窓口負担にあります。患者負担を減らすこと、そして減免制度を充実させることが本来必要です。また、そもそも医療は処方、投薬も含めた一連のもので、院外調剤だからと言って無料低額診療を認めない事にも問題があります。私たちが今後求めていくのは、国に対して調剤薬局でも「無料低額診療」を適用させることです。今回、帯広市で助成が実現したのは大きな1歩ですが、根本的な解決にはなりません。しかも助成期間が最大6カ月で切れてしまいます。低年金で生活されている方のほとんどは、申請後6ヶ月で助成がなくなる事態に直面します。当面は自治体に対して助成期間の撤廃を求めていきます。

道内で「くすり代助成」を行っている自治体

自治体名	助成期間	再申請
旭川市 東神楽町 東川町 鷹栖町	1年	可
苫小牧市	6カ月、最大1年	不可
浦河町	期限なし	-
帯広市	3カ月、最大6カ月	不可

聴診器

▼コロナ感染拡大、この8月、「新型コロナウイルス」の感染者数が全国で連日、過去最多を更新し、災害レベルに達した新型コロナウイルス感染症拡大」と。9月「重症者数は高止まりしたままで、『引き続き災害レベルの状況にある』と：「緊急事態」が続いている。ネットでは「#コロナ闘病中」「#コロナワクチン危険」「#コロナワクチン副作用」「#コロナは茶番」「#コロナ脳」「#コロナ感染情報」「#コロナ闘病中」と続く▼「コロナ対策は、自然災害と同様に与らえて」と阪神淡路大震災、東日本大震災などの災害に携わった市民、弁護士、学者などから指摘されたのは昨年の感染拡大第1波の頃で、それから1年半たっている。災害時は「何よりもいかに住民の命と暮らしを守るか」の視点での緊急対策が必要である。その願いがネット検索で見えかくれている▼政府は30年後の2050年までに「温室効果ガスの排出を実質ゼロにする」と宣言している。HNKが今年1月、温暖化がこのまま進めば「しゃやくら・いかなご」が消え、2080年頃には「はたて・うに・あわび」が、21世紀末には「ヒラメ、マダイ、ズワイガニ」が消えてお寿司屋さんもなくなるかも知れないと▼毎年、記録的な大雨で土砂災害や水害が多発。#災害、#総選挙、過去の検証・教訓と科学的な知見、未来を想像し夢をかたる選挙にしたいと思う昨今です。

(野坂)

シリーズ

憲法があぶない

宮沢賢治と日本国憲法

私は『宮沢賢治を楽しむ会』の会員としてさまざまな活動をしています。宮沢賢治と云えば、詩人・児童文学者として著名な方ですが、他にも科学者・宗教家・教育者などいくつもの顔を持っており、多くの人から『多面体人間』と呼ばれています。

しかし、宮沢賢治が社会問題や平和についてどんな考えを持っていたのかということあまり知られていないのではないのでしょうか。宮沢賢治は、大正末年に労働者農民党（労働農民党）が花巻にできたときに事務所を幹旋し、謄写版、机、椅子を寄付しています。また、詩の草稿で「きみたちがみんな労働者になつてから、それからほんとのおれの仕事ははじまるのだ」とも書いています。宮沢賢治は社会主義思想をよく勉強し、「人間はみんな平等で差別があつてはならない。みんなが幸せになる権利を持つていいる」と考えていたようです。

また、『農民藝術概論綱要』では、『世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない』という有名な一文を書いています。これはまさに『日本国憲法』前文にある『われらは全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する』に通じるものでないでしょうか。

わたしは、これからもひとびとのほんとうの幸いを求めて生き抜いた37年間の賢治の人生から多くのものを学び、ささやかではあります、「改憲反対」の活動を続けていきたいと思っています。

最後に、宮沢賢治の大ファンだという大江健三郎氏・梅原猛氏・井上ひさし氏の三人が、ともに「九条の会」の呼びかけ人の九人の中に名を連ねていることも紹介しておきたいと思っています。

【音更東友の会 菅原 一晴】

～地域の困難が広がる今こそ、すべての活動を共同組織とともに～

秋の大運動スタート

職員・友の会が一丸となって、地域の医療・介護を守り・発展させる中で、まちづくりの取り組みをすすめてよう！

いよいよ秋の大運動がスタートしました。今年も9月から10月の2カ月間、会員拡大・強化月間と、“たたかい”の課題に取り組みます。相次ぐ医療介護をはじめとする社会保障の解体が進められる中での新型コロナウイルス感染症の拡大が、地域の困難を更に広げています。今まさに求められている安心して住み続けられるまちづくりの取り組みを進めましょう。また、今秋までには総選挙が行われます。国民の命を最優先にする政治への転換を求め、この大運動で呼びかけましょう。

8月27日(金)友の会連絡会拡大役員会(兼秋の大運動スタート集会)が行われました。感染の状況からリアル開催が難しかったためフルオンラインで開催、32会場から48名が参加し年度の活動方針と大運動での課題を確認しました。

参加者からは、地域の友の会員さんと補足給付の話題になった時のお話から、あまりの負担増に驚いたこと、最終的には「やっぱりいのちを大切に政治にしなければ」とお互い確認できた、という発言や、地域の経済格差にふれ、「感染対策をしっかりと行い職員と一緒に地域訪問を行いたい」という発言などがあり、この状況下で行う大運動の必要性を共有、課題達成に向けた意思統一を図ることが出来ました。



職員も各事業所でそれぞれスタート集会を開催し、地域や目の前の患者さん・利用者さんの困難に寄り添い、公正な社会と安心してらせるまちづくりの取り組みを前進させようと思意思統一しています。

友の会連絡会コーナー 〇二五・二・四二四四

生き生き広場

新型コロナウイルスの感染が広がり、取り組みが制限される中、各友の会では、工夫を凝らした独自ニュースで、情勢や各々の取り組みを会員さんに紹介しています。

今月も各地で発行されたニュースの一部をご紹介します。

白樺友の会

今月の独自ニュース「しらかば」では、エッセンシャルワーカーの紹介として、ゴミ収集員を紹介

したNHKの番組「あるゴミ収集員の記録」を紹介しています。時に蔑みの言葉を投げつけられ人知れず街を駆け回りゴミ集める中で、どのような気持ちで従事しているのかなど、執筆者の感想や思いも含めて紹介しています。



8月号では、6月総会で決めたコロナ禍でも取り組める活動の実践についてのご案内をしています。9月は帯広野草園の散策、野草園の運営委員の方とゆつくりと見て回る企画です。10月はミニ講演会、帯広市の保健師として従事されておられた方をお招きし、広い会場を取り短時間でお話をお聞きする企画を準備しています。また家に閉じこもりがちな会員さん向けに「脳トレ」も掲載しています。

【事務局 村上久美子】

緑西友の会

医療・介護の現場から

シリーズ ⑪

白樺医院では、訪問診療(以下、往診)患者さんが現在16名います。そのうち3名が、これから終末期を迎えようとしています。いずれの方も、白樺医院、帯広病院、他法人の訪看、各種介護サービス事業所と情報を交換し連携しながら、在宅生活を支えています。

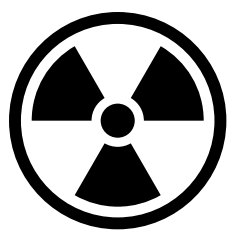
Aさんは、肺がんなどで月1回の訪問診療を受けています。胆嚢炎での入院をきっかけに体力も次第になくなり、筋力も低下、現在寝たきりです。退院後、本人・家族の同意のもと、自宅で生活できるようご家族が在宅で介護をしています。

ご家族も高齢のため、介護疲れが心配です。何かあった場合を想定し、本人と家族、白樺医院の看護師、帯広病院のスタッフ、訪問看護の看護師と連絡

を取り合い、連携しています。

Bさんは、認知症やうつ状態などで往診を利用。昨年調子を崩し、帯広病院に入院。これを境にADL低下が見られ、在宅での生活が厳しくなりました。毎日ご家族一人で移動介助などBさんの生活の面倒を見えています。

Cさんも、パーキンソン症候群、前立腺がんなどで往診を利用しています。入院を繰り返していますが、ご家族の要望もあり在宅生活を継続できるように体調確認、リハビリなどのために訪問看護を利用しています。最期は自宅というご本人と家族の希望に寄り添い、その思いに全力でこらえられるよう、地域の様々な事業所の橋渡し役となるよう白樺医院スタッフは日々奮闘しています。



放射線見聞録

帯広病院診療放射線技師 松田 裕樹

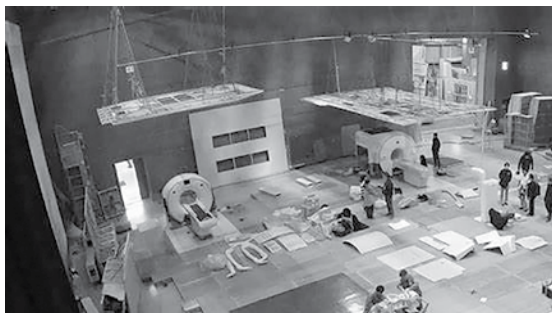
ラジエーションハウス

おそらく日本中の放射線技師にとって、感謝してもしきれない作品、それが『ラジエーションハウス』です。現在連載中の漫画であり、2019年にはテレビドラマ化もされましたので、ご存知の方も多いかと思えます。

放射線技師は、医師や看護師などの花形な職種と比べてしまうと、あまりにも日陰なイメージですよね。そんな私たちに初めて光を当てていただきました。技師生活27年、こんな日が来るとは思ってもいませんでしたよ。しかも、この作品の生みの親であり、最も感謝すべき原作者である『横幕智裕』さん。実は、ここ十勝の音更町出身なんです。驚きますよね。ゆかりのある音更町図書館では漫画『ラジエーションハウス』を読むことができます。私が調べた限りでは、十勝で所蔵しているのは音更町図書館だけでした。

ドラマの影響はとても大きく、最近では放射線技師を目指す人も増えていると聞いております。大変うれしく思います。散々日陰だなんだと申しましたが、医師が診断・治療するために、分かりやすく必要な画像を撮影する、とてもやりがいのある仕事です。

そんな放射線技師の仕事ぶりを見ることができるこの作品。2021年10月からは第2シリーズ放送予定です。素敵なキャストの方々も見どころですが、撮影に使用されている恐ろしく高額な放射線機器の数々もご覧いただきたい。ありがちな病院での撮影ではなく、本物をセットに組み立てております。メーカーさんや放射線関係者の本気を感じますね。一体費用はどれほどなのでしょう。他の医療ドラマとは画像診断の部分でひと味違う『ラジエーションハウス』是非お楽しみください。



白樺医院では、秋の大運動で、署名や友の会員を増やすことと合わせて、地域に根付いた診療所としての役割をさらに発揮するため、健康診断の受験にお勧め活動と、地域住民の中に潜在的に介護サービスを利用する必要がある住民がいるのではないかと、その方々を探し出す取り組みを進めています。今年の4月～7月に70歳代と80歳代と年代を分けて、十勝勤医協の白樺地域の事業所であるデイケアとデイサービスを紹介するチラシを約500人の方に送付しました。また、白樺医院の友の会に健康診断の受験と介護サービスの利用をお勧めする内容の『白樺医院だより』の配布を依頼。約2,200人の世帯にたよりが届きます。医療・健康面だけではなく、その人の生活全般を支えるという意味で必要な介護サービスを支えたいという思いで利用していただ

白樺医院
自医

地域の健康を守る取り組みを粘り強く！

くというの私たちの役割です。高齢化社会と言われる今、コロナ禍で医療や介護を巡る状況は厳しい環境にありますが、勤医協・民医連、友の会、地域の方々と連携して、地域住民、友の会員の健康を守る取り組みを進めていきます。



すずらん

すてきな作品がまた出来あがりました！

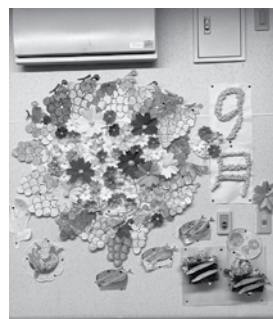


なコスモスのお花を完成させました。利用者さんの中には、ご家族

今回も毎月の恒例となっている、すずらんの作品作りをご紹介させて頂きます。9月の作品は、秋のコスモスのお花づくりを中心に、これから美味しい時期を迎える、秋の味覚の代名詞、さんまやぶどうの作品を完成させました。さんまやぶどうは、塗り絵を中心に行って頂きましたが、コスモスは、折り紙を折り、切って広げ、色鮮やかなコスモスのお花を完成させました。利用者さんの中には、ご家族

や友人に見せたいと、ご自身の携帯で写真を撮られる方もいらっしゃいます。コロナ禍で、ますます外出の機会が減り、デイサービスに参加することが唯一の楽しみだと言ってくださる方が大勢います。そんな利用者さんの声を糧に、これからも職員一同、頑張りたいと思います。

【デイサービスすずらん 村上 あゆみ】



友の会連絡会コーナー 〇二五・二一・四二四四

生き生き広場

白樺友の会

母は、現在99歳と9カ月「8月現在」もうすぐ100才を迎える。まさに1世紀を生きて来ました。その母は、この7月中旬、2年間お世話になった「勤医協老人保健施設ケアセンター白樺」を退居し、「グループホーム」に入居することが出来ました。介護度は、この1月に「4」になり、自力では歩行ができず、車いすの生活と

なりました。いわゆる「認知症症状」が進み、辛うじて娘の顔を覚えていたのが救いでした。その母との今日まで至る私の「老々介護」の日々を回顧録として紹介します。母の様子に変化がみられるようになったのは、2016年の秋。母94才。まもなく95才になろうとしていた頃、庭に植えてある「キユウリ」や「トマト」が、無くなっていると言いだした。誰かが持

って行ったと…。私は、「そんなことはないよ…」と否定をしたものの、これが、母の「認知症」の始まりなんだと思った。「認知症」…。何となく覚悟はしていたものの目の前の母の顔を見て、私はこの先、母がどうなっていくんだろうか…と、不安がよぎった…。

老眼鏡を買う？」といったものの、目のせいなのか、読もうとする気力がなくなつたのか…。その後、ボート外を見ている時間が多くなつた。そんな母を見ているのが辛かった。気晴らしに、買い物に連れ出しては見ただものの、カゴに入れる品物も選ぶことができず、結局は、いつしか私一人で済ませるようになった。私が、買い物や「友の会活動」などで外出する時などは、「どこに行く？」「何時に帰ってくる？」と何度聞いても「さつき言つたでしょ…」との繰り返し…。この時、母の聴力

はかなり低下していたと思う。後でわかつたことだが、「認知症」の人に最も言つてはいけない言葉だつたと気がついたのだ。…。時間通りに戻つてこない、携帯が鳴る。何度も…。私にしてみれば、拘束されているような、早く帰らなければという気持ちになり、出かけることを躊躇つこともあつた。特に夜の外出は、自粛せざるを得なかつた。私を全身で外出させないという気持ちを感じた。母が、1人にしないでという不安からくるものだと思つた。母の関心時は、私の一挙手一投足に近かつたと思つた。母は、「変形性ひざ関節

症」と診断を受けていたこともあつて、ふらつくこともあり、室内でも杖を使い歩行をしていたのだが、暮れに寝室で転倒した。起床時のことだつた。ベッドに頭を打ち、腕や腰も痛いと言つていたが幸い何ともなかつた。当時、68kgあつたであろう母を持ち上げることは大変だつた。私は、この先も、転倒が繰り返しかつた。私1人では、対処することは出来ないと思ひ、「在宅介護支援センター白樺」に電話をした。

頭の体操

次の□に漢字を入れて熟語をつくり、□の漢字を並べ替え□の中に入れて、答えを完成させてください。出題者は霜村英靖さん（帯広市）です。

初 □ 雨 求
中 □ 空 物 □ 望
私

昼 □ 後 前
朝 □ 前
【応募方法】
（漢字で）記入ください
解答とお名前、住所、

ヒント

海の幸、山の幸、何を食べてもおいしい季節です
【答え】
□ □ の □

解答とお名前、住所、

電話番号をハガキかメールで左記へお送りください。

「友の会ニュース」へのご感想、ご意見などを添えて頂けましたら、可能な限り紙面でご紹介いたします。（匿名希望の方はペンネーム可）

宛先

〒080-00019
帯広市西9条南11丁目
十勝勤医協会館内
友の会ニュース編集部
〇メール
soshiki@tokachi-kin-
ikyo.or.jp

賞品

抽選で10人の方に、千円分の図書カードをお送りします。

締め切り

10月20日（当日消印有効）。発表は第451号（12月号）紙上です。

第447号の当選者

答えは「無観客」でした。応募総数131通、正解者124通の中から抽選により、次の10人の方が当選しました。（敬称略）
柏本洋子 紺野由紀
高橋 誠 松田圭子
宮崎哲夫 （帯広市）
矢野百合子 （音更町）
米木まゆみ （幕別町）
山本美智子 （鹿追町）
矢木竹一 （大樹町）
鈴木 茂 （陸別町）

読者の声

7月号聴診器の『SOC』私は、どうだと考えさせられました。家族や周りの人達を「大切な人」と思う心が大事！そして私も思ってもらえる人になれるように長くはない年月を生きていきたいと思ひました。

平井洋子さん（釧路市）

コロナ大深刻ですね。政府の後手後手対策と菅首相の危機意識がないのに呆れています。国民一人一人の自覚欠如も考えなければなりません。

山下智さん（大樹町）

先日コロナワクチン一回目を接種しました。当日と翌日は腕が痛く、上がりませんでした。二回目の副反応が出ないか少しドキドキします。もう少し副反応の出にくいワクチンが出たらいいなあと思ひます。

匿名希望 クローバー

パークゴルフの交流会と焼肉交流会が新型コロナウイルス感染の影響で、本別町では出来なくて残念です。1年に1回、仲間の皆さんと会って楽しめる日が早く来てほしいです。

会川桂市さん（本別町）

（友の会ニュース）毎回、楽しく読ませて頂いております。「憲法があぶない」興味深いです。改憲に関しても「必要」必要なし「半々の世論調査の結果が出てきたが、本当は真剣に考えなくてはならない事なのに、なぜか他人任せの自分が出て反省しています！」
長谷川八重さん（帯広市）

各友の会連絡先

【音更東】守屋 敏紀 〇五五・二二・三〇八四
【音更西】尾崎 忠頼 〇五五・二二・六〇六三
【音更南】野口 清子 〇五五・二二・七二二二
【音更北】中嶋 晴子 〇五五・四二・二一九九
【土 幌】和 鶴二 〇五五・四二・七四三三
【上士幌】山本 政俊 〇五五・四二・二〇八九
【新得】土山 武志 〇五五・四二・四七一六
【清水】田中けい子 〇五五・六三・三〇五六
【鹿 追】武田 耕次 〇五五・六六・二一七六
【芽 室】梅津 美政 〇五五・六二・二八五九
【中札内】西村 和正 〇五五・六七・二七七四
【更 別】大津寿美香 〇八〇・八四・八三八七
【大 樹】有岡千恵子 〇五五・八二・四三二八
【広 尾】前崎 茂 〇五五・八二・四三二八
【幕 別】小林 正明 〇五五・五四・二五三一
【札内東】鈴木志摩子 〇五五・五五・六六五七
【札内西】岡崎節子 〇五五・五五・六六五七
【忠 類】増田 武夫 〇五五・八八・二六〇七
【豊 頃】岩井 明 〇五五・七四・二六三四
【池 田】岩本 正雄 〇五五・七二・二五八五
【本 別】阿保 富男 〇五五・八二・二七五六
【足 寄】田利美智子 〇五五・二五・四〇〇〇
【陸 別】黒沼 明美 〇五五・二七・二六六七
【東 川】山口久美子 〇五五・二七・七六六二
【柏 川】加藤 昌明 〇五五・五〇・八四八四
【光 南】村上やよい 〇五五・五五・八八八八
【鉄 南】牧野美智子 〇四七・八八・六六五五
【中 央】田村力オリ 〇三三・二六・〇七
【栄 川】佐藤 久輝 〇三三・六三・九九
【開 西】岡本 顕 〇九〇・六四・四六五二
【西帯広】野坂 潤子 〇三七・二七・二九
【西 南】麻生 恵子 〇二二・一六・一三
【緑ヶ丘】堀田 省悟 〇五八・一六・五〇
【白 樺】武井 純子 〇三六・二四・二四
【新 緑】齋藤 光枝 〇九〇・七五・〇一五五
【柏林台】横塚恵利子 〇四一・七七・九〇
【緑 西】村上久美子 〇三三・一六・八五二
【稲田北】平 麗子 〇四八・〇七・一五
【稲田南】藤田 功 〇四八・六九・五一
【川 西】原 正子 〇五九・二四・四二
【大 正】岡山 幹男 〇六四・一五・五三